

シエデーヒル・スクール (在ケンブリッヂ)

宇佐美敬

廊下續きも建つて居ります、庭は冬枯の野原の感じ、如何にも自然のまゝであります。

校舎は幼稚園と一年とが一棟、二三年、四五年、六七年、其他にカーベンター（立派は大工工場、其處には澤山の木材が貯蔵もしてあります）勿論各棟は教室だけでなく、音楽室、物理化學、地理教室等、その他圖書室、事務室があります。

まづ幼稚園に就て述べてみますと、幼兒數十五人、主任と助手一人、徹底した自由で、畫架に向ふ人、床の上で繪をかいてゐる人、積木で遊ぶ人、例の大人の鋸で厚い板をごし／＼ひいてゐる人、立派な頑丈な、レターボックスにベンキを塗つてました。

校舎及び園舎は廣い敷地内に、木造平屋建數棟、

ある人、皆無言で、せつせと自分の仕事をして居ります、面白い事には小さいお料理場がついて居て、其處で先生は二三の女兒を相手にゼリーをこしらへて居られました。此部屋ではクリスマス

リーの裝飾は殆ど完成して居りました、他の凡ての教室でも見た事がありますが、貧しいお友達への送り物が色々の美しい色紙に包まれてテープでいはへてあります、大きい人達は自分の作つたものが重であります、幼稚園では皆自分の玩具と家から持つて来て包装してクリスマスリリーの下に積み重ねてあります。

十時四十五分からレストタイムで一年生も同じ時間に幼兒と同様に休みます、マットのはいつてゐる戸棚が同じ廊下の一隅にありますので中々の混雜です、併しよく互讓してあせらない所はいつもの事ながら感心する點もあります。

レストタイムの後牛乳を一杯飲みます、先生の

こしらへて下さつたゼリーはお歸りに皆持つて歸るといふ事がありました。

そのあとでリトミックの先生がピアノの先生と一緒に來られて指導されましたが、此處で觀た教授法も最も幼兒に適合しました最も勝れたものである、其必然の結果として其に満足した幼兒の状態を見て愉快に思つたことあります。

先づ先生がピアノを $\frac{1}{16}$ の拍子で彈かれますと、今迄の遊びからはなれて、自由に部屋の中を軽く駆け廻ります、次に静かな曲のピアノを聞きながら先生の命令で皆仰臥します、此は全身の力をぬいて居ります。先生が各幼兒の腕や、脚を持つて、力がぬけてゐるかどうかを試験されます、やがて先生が其曲に合せてララララ、と歌はれますと幼兒は皆鼻で歌ひます、静かに／＼起き上り腕をあげ、また静かに腕を下して普通の姿勢にかへつて歩き始めます、實にむづかしい曲に合せて行

進します。また仰臥して背骨の運動を曲に合せて静かに、隨意の形でいたします。次に幼兒は小鳥のつもり、熊のつもり、お魚のつもりといふ風に種々の姿態をとつて運動いたします。次に幼兒は樹木になり風に吹かれる所、ピアノの拍子、強弱によつて運動する身體の部分が、別であると同時に形が異ります、幼兒各自は全く自分の好む姿態をとります、微風からだん／＼強風にふるやうで椎木の根も中々ぐばかりに吹きまくられる、其愉快氣に全身の力をぬいて、ピアノのまゝに身體をゆるがす所、一人一人の形が實に面白いのです。

次に先生がゴム風船を皆に渡される、皆嬉しげに色とりどりの風船をつけます。拍子の練習であります。約三十分息もつきあへぬ頃から次の運動で、見てゐる方も實に面白かつたのですが、幼兒の満足が思ひやられたのであります。主任の先生の言はれますのに、アメリカの小兒は大體に神經

過敏であるので、常に環境を静かにと考へてゐる、尙リトミックは此點に效果の大なる事を認めて毎日三十分づつ課してゐる云ふ事であつた。此學校の教授様式は現時のアメリカに於て新しき研究として重んじられてゐるものであります。が、今此處に實際を參觀しながら見聞しえた所だけを記す事といたします。

各學年に一年を通じての題目がきめられ、其題目の研究を目的として各學科の教授がなされるのであります、試みに各學年に就て其題目を記しますと、一年生、インデヤ、二年生牧畜の生活、三年生地理、地勢の實際觀測、ボストンの海岸から始め地圖の作製をいたします、四年生、世界の北部、スコットランド、スエーデン、ノールウェー等の住民の生活、五年生ギリシヤ文明の研究、六年生七年生、現代の文明にはいるといふやうになつて居ります。

其理論と實際に就ては詳しく述べ研究の暇を持ちえなかつたのと、また其時校長がプリントを要求する人が澤山あるから何れ郵送してやると約されたものをまだ手に入れえないために記述する事が出来ませんが、要するに兒童の心理發達に順應する

極めて效果的の教育法として考へられてゐるのであります。一年生、二年生に就ては幾分其實際を見聞する事が出來たのであります、一年生の教室には大きい砂箱があつて其處に、インデヤンの小屋が幾つか粘土で出來て居り、また其周圍の光景が表はされて居ります。四圍の壁には、其に關する種々の繪がかけてあります、先生は兒童の興味を持ち、理解し得る程度に此問題を取扱ふのであります。其材料の蒐集、研究は私共がすると先生がいつて居られました。此日は前述の通り、クリスマスの準備で（重に送る物の始末）いそがしくその實際の授業は見ることが出来ませんでした。

ガウンを着た先生は實にいそがしく仕事部屋で小兒と一緒に働いて居られます。まだ親しき者への贈り物の完成しない小兒は殆どむちうであります、主に木工で種々の箱をこしらへて居りました。

二年生の教室の一隅の砂箱には羊の群が歩いてゐる所、テントがあり、小さい小屋がある、羊は粘土で作つたもの或は玩具もあります、此組は春になりますと庭に家を建てる、羊を追ふて居を移す羊牧者ラムジカビの生活を實際に経験する爲めに、自分の建てた家に一夜を過ごすのだといふ事であります。その家の設計圖から入用の木材の算出皆生徒自身がする、一人の男生が私に、自分のデザインを見せてくれました、勿論簡単なものであります。が、またその生徒は春の小屋の爲めに、箱を苗床にして種子を蒔いてすでに小さい芽の出てゐるのを見せてくれました、計畫的作業の喜びの深さ此

を男児の表情に見た事であります。とにかく自分で圖をひき、板が何枚入用かを計算して、カーベンターにゆきそれだけ貰つて、全く生徒だけで數人合同一つの家を建てる併も其處に泊る、何といふ満足であらうと思ひます。序でに大工部屋の事を附記しますと、他の校舎から少し離れてゐる大きい生徒は皆此處に來て作業をいたします、其指導の先生は、本統の大工さんでその他に或大學教授で特に木工、殊に生徒に教へる事に興味を持つてゐる方が一週數回寄附的行爲で來て指導されると云ふ事であります。

唱歌の教室も參觀いたしましたが、明日のクリスマス祝賀の歌の稽古で、二年生以上全部一緒に練習をして居りました。先生はホイーラックスクールと同じ先生であります、中々皆上手で二年生から二部合唱で五年生が三部で歌つて居りますには驚きました。

二年生の可愛いゝ女兒の傍に非常に大きい、犬がうづくまつて居ります、此女兒の行く所について廻つて居り、おさなしく何の妨もしません、また生徒達も、その存在を無視してゐる所、一寸我國では見られぬ所を面白く思ひました。
四年生以上の生徒は一週三回、中食を生徒と一緒に食堂でとると云ふ事であります。

お願ひ

皆さんの此の雑誌を、若しまだ讀んでゐて下さらなかつたら、是非すぐ御購讀下さい。

すでに讀んでゐて下さる方々は、どうぞ、廣く他の方々へおすゝめ下さい。
我國の幼稚園教育の發達のために。

日本幼稚園協會

購讀申込みに就ては本誌奥付けを御覽下さい。